

夢と志を育てる学園

玉手山学園 広報

2020
春夏号

vol. 93

巻頭 理事長挨拶

玉手山学園によろそ
学園生活をどう楽しみますか



思 感

建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～



玉手山学園に ようこそ

— 学園生活をどう楽しめますか —

玉手山学園は どんな学園 どんな街

学生・生徒・園児(以下、学生と称す)・教職員の皆さん 玉手山学園に“ようこそ”
学園を愛し 生涯の友と出会い この街に親しんで(好きになって)ください



こんな眺めの展望台(高尾山)もこの街に
億劫がらず 行ってみると良かった♪

どんな仲間(学生、教職員)が 何をやっているのか
どんな街で何があるのか

どんどん興味関心 好奇心をもってください
学園を楽しむ基本です



かしわら水仙郷(高尾山)
柏原市にこんな素敵な
水仙の穴場が(2020.2.1)

建学の精神は「感恩」 ありがとうは人を育てる

学園は「ありがとう」を大切にします
学園教育活動のベースです
2020年は学園創立78周年です

(1942年(昭和17年)学園創立 玉手山高等女学校から)



健康科学科 卒業研究発表(2020.2.6)
テーマ(実に豊か)は自分で考える

あなたの学園生活を楽しむために

スクールカラーは *Tama Blue* (夢と志の象徴)

ありがとう を大切に

夢と志 (*Dreams and Wills*) を 育て

やってみよう (試してみようWAKU WAKU)

夢と志(豊かな心)を 形に行動にしてください

失敗もOK 成長につながります

やらない(できない)理由より できる(チャレンジする)方法を 夢は見つかる



Tama Square 黄昏コンサート(2019.11.14)
大勢で“楽しさ”を共有



学園の「食」向上にチャレンジ

学園の「食(Quality)」向上 Tama Café でチャレンジ

学園の「食」をもっと豊かにしたい
それが豊かな学園生活のエネルギーになると考えています
「美味・健康的・良質食材・
安価(学食だから)・早く(待たない)・いつでも(夕食も)」
こんな豊かな「食」の実現に
学園はチャレンジし続けます(課題山積)
学園の仲間からの応援が大きな力になります



からあげ丼がリニューアル!
「THE 日本」のからあげ丼



新メニュー!
「HEALTHY 元気プレートランチ」

学園2号館(R2.6~)で夢と志を育てる



学園2号館 完成イメージ図
素敵な愛称 待ってます♪

(2,3F Learning Commons を“人気スポット”に)

学園2号館がまもなく完成します
2,3階は Learning Commons 気軽に(プラッと)立ち寄り
気づけば学修 もうこんな時間…(帰れない 🤖 ならば臨泊?)
学生たちで賑わい 夢と志(豊かな心)が語られ高まる
“人気スポット”になることを願っています
学生たちの居場所です 使い込んでください
教職員は学生を強く誘ってください
素敵な愛称を待ち望んでいます



2,3F (Learning Commons)のイメージ図
人気スポットに!
もうこんな時間(帰れない 🤖) どうしよう?

私たちがどう接するかで若者は変わる

～2020年度の取り組みキーワード 一部紹介～

- ・「感恩」 夢と志 あいさつ
- ・教育の質向上(勉強(自習)時間)
- ・卒業率向上
- ・“Kanjo”幼 New教育プログラム
- ・学園2号館活況(Learning Commons 1,000人/日)
- ・学園の「食」向上
- ・イクボス宣言 & Noハラスメント尊重
- ・Front Square(勾玉橋前)構築
- ・人工芝グラウンド活用
- ・“整形リハ診療所”充実
- ・地域共生(連携)
- ・Open Campus
- ・Website(学園のオモシロ発信)



2019.12.10 学園避難所運営演習を実施
まさかの災害時 多くの方が学園に集まる

For the students の視座



チェコで「なぎなた指導」
福科大高校 島名教諭(2019.12 左手前)

これらの活動の基本的視座、
それは“For the students”
「何ができるのか 何をすべきか」
教職員が各自の役割を果たし 学園が豊かに成長します



建学の精神「感恩」

理事長・学園長 江端 源治

大学・短大 入学宣誓式

大学・短大 学生支援センター 横山 学

4月1日(水)、短大入学宣誓式が学科ごとに挙行され、真新しい制服に身を包んだ新入生219名が入学しました。また、4月2日(木)、大学入学宣誓式が短大同様学科ごとに執り行われ、学部生723名、大学院生10名、合計733名が入学しました。今年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全体の式典は中止とな

りました。新入生はこれから希望に満ちた新生活が始まります。不安や悩みもあるかと思いますが、教職員一同、新入生の大学生活が輝かしいものになるよう、全力でサポートしていきます。



大学・短大 卒業式

大学・短大 学生支援センター 横山 学

大学生に対する卒業・修了証書学位記の授与を3月23日(月)に、短大生に対する卒業証書学位記の授与を3月19日(木)にそれぞれ行いました。今年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響で大学、短大ともに一堂に会する式典は中止せざるを得ず、学部、学科毎の対応となりま

したが、江端理事長・学園長および八田大学長、大嶋短大 学長の心温まる書簡が証書と共に卒業生全員に授与されました。卒業生のこれからの社会での活躍を期待しています。



高校 卒業式

高校 平井 利明

2月26日(水)、第72回卒業証書授与式が挙行され、308名が卒業しました。「令和」最初の卒業式は、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小した形ではありましたが、無事終えることができました。答辞では、辛いことを共に乗り越えて励ましあった友人に感謝の気持ちを表し、学校生活を支えてくれた全ての方に感謝を述べ、本校で学んだ「感恩」

の精神を大切にしている姿が印象に残りました。本校で学んだことを糧に、全員が進路先で活躍してくれることを期待しています。



たのしみいっぱい! 入園式

幼稚園 稲垣 晃子

4月7日(火)、桜満開の暖かな日差しの中、123名の園児の入園式が行われました。お家の方に手を引かれ、ちょっぴり不安な顔を見せながらもワクワクがいっぱいの子どもたち。新しい保育室で、担任の先生と笑顔でお話している姿が微笑ましかったです。

今年度の入園式は、コロナ感染防止対策により、時間短縮・人数制限で行われましたが、職員全員で子どもたちを迎えられたことを、大変嬉しく思います。これから、子どもたちと楽しいことをいっぱい見つけていきたいです。



ありがとうの気持ちを大切に

幼稚園 畠山 由佳理

3月16日(月)、年長・青組121名が卒園式を迎えました。遊戯室でクラスごとに卒園式を行い、園長先生から一人ひとり卒園証書を受け取りました。その後、子どもたちから保護者に卒園証書を手渡し、感謝の言葉を伝えました。3月は新型コロナウイルスの影響で臨時休園となり、例年と

は違った形の卒園式となりましたが、子どもたちの心につまでも残る思い出となれば嬉しく思います。また遊びに来てくれることを楽しみに待っています!





学園初 避難所運営演習



法人本部 地域連携センター 中井 松時

12月10日(火)、柏原市・本学園主催で柏原市初の避難所運営演習を学園総合体育館“Do夢”で行いました。本学園は大地震や洪水などの災害時には「指定避難所」として使用されることになっており、災害発生時は学生・生徒・園児の安全確保と共に、避難所利用者の安全確保・支援が求められています。

当日は災害時の支援者としての心構えを養うことを目的に、学園の学生・生徒・教職員のみならず、富宅市長をはじめ柏原市役所職員、近隣地区の区長さんなど総数266名が参加され、『大規模災害発生時の心構えについて』(演者: 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部山川氏)、『避難所の開設手順について』(演者: 柏原市政策推進部危機管理課水上氏)の講演の後、『応急手当訓練』『避難所備品の取扱』『避難所〇×クイズ』の演習を行い、総括として『避難所運営の基本的な考え方について』防災士という立場で、講義をさせていただきました。

大規模な災害では、災害対応に多くの人手がかかるため、市が避難所の開設・運営の全てを引き受けることは難しく、私たち学園の職員や地域住民の方も一体となって積極的に運営にあたるのが望ましいと考えています。いざという時に協力するためには、日頃から避難所の開設手順を学び、実際の建物や設備を確認しながら備蓄物資の保管場所などを関係者の間で情報共有しておかなければなりません。

令和2年度も引き続き、避難所運営演習を行います。学生・生徒のみなさんの参加をお待ちしています。



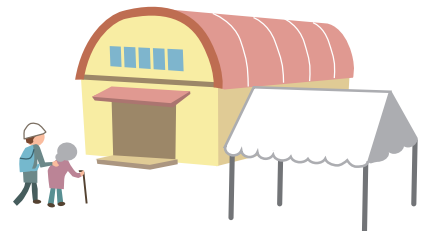
毛布を利用した応急担架の作成



骨折時の応急対応の説明



毎日新聞社の記者からのインタビューに対応する健康科学科4年生



新校舎(学園2号館)オープン!

法人本部 施設部 田堀 富造

いよいよ、新校舎(名称:学園2号館)がオープンします。この広報誌がお手元に届くころには、新校舎が完成し各階の什器・備品も搬入設置され、みなさまにお披露目されている頃かと思えます。

オープン当初から、たくさんの人に見てもらいたい、使ってもらいたいとの観点から、色々なイベントを企画中です(例:愛称募集 フォトコンテスト…)。

学園2号館は、多様な学修スタイルに適応したラーニング・コモンズや、多目的利用にも対応できる講義室など、「学び」と「交流」の場となる施設です。各階の諸室を写真で紹介いたします。是非一度ご利用ください。

隠れ〇〇も!探しにきてください。



2階

2・3階 ラーニング・コモンズ

個人学習、グループワーク、ミーティングなど、多様な学修スタイルに対応。

ワイドサイズの机を採用し、ゆったりとした学修スペースを確保。

ビッグテーブルには随所に電源コンセントを設置。WiFiも完備。飲食可のエリアも。

コモンズカフェ(8:30~17:00)もオープン。



3階



1階 大学事務局(教務部、学生支援センター)

職員が対面対応で常駐するコンシェルジュカウンターを設置し、迅速に対応。

移動の利便性を考え、4階までの移動用に学園初のエスカレーターを配置。



4階



4階 屋上テラス



5階



6階

4~6階 講義室

ワイドサイズ(W750×D600)・キャスター付きの1人用机を採用。

机・椅子ともに容易に移動ができ、授業の途中でも、グループワーク等の様々な授業スタイルにあわせて、レイアウト変更が可能。



正面玄関については短大1号館と干渉しているため、大学事務局の引越し後に短大1号館を解体し、玄関前の工事を行います。全てが完全に供用開始となるのは、9月1日を予定しています。



学園玄関口の リニューアル計画中

法人本部 施設部 田堀 富造

いよいよ、新校舎(名称:学園2号館)がオープンします。新校舎オープン後は、耐震性能に劣る短大1号館を解体撤去する予定です。(この解体により、玉手山学園は耐震化率100%になります)

この玄関口の解体跡地を、アカデミックで、誰もが利用できる憩いの広場にするために、各校園の教職員並びに学生・高校生のメンバーからなるワーキングチーム(以下WT)で、跡地活用の計画アイデアを構想中です。

各立場目線からの優先順位の高いキーワードを整理して提示し、3月5日にプロの景観整備会社に設計提案コンペを行いました。

(例:アカデミック、防災、バリアフリー、芝生…)

優秀作品をご紹介します。これをベースにWTの意向、こだわりを盛り込んで学園の顔となる憩いの広場を完成させたいと思います。

完成予定は、令和3年3月末。ご期待ください。

**学園2号館と Front Square (R3.3完成)で
皆さんにご覧いただける“アクティブ見学会”企画も?**

Front Square
イメージ図(案) R3.3完成予定 正面玄関に広場



リーダーズキャンプ



大学・短大 学生支援センター 北條 樹

2月13日(木)から1泊2日で、大阪府羽衣青少年センターにて第14回リーダーズキャンプを開催しました。

この研修会の目的は、課外活動団体同士の繋がりや、課外活動団体とクラブ・サークル委員会との繋がりを明確にするためにグループワークや団体間での交流を促進し、実践の基盤を整えることです。団体の現状・課題・目標を共有し、課題解決のために討議する場として、毎年実施しています。

今回のリーダーズキャンプでは、各課外活動団体の現代表者及び次期代表者が参加し、「団体交流行事について」「団体の繋がりについて」「新入部員勧誘活動」等のテーマで討議、発表を行いました。また、今後、発足を目指す体育会・文化会の概要・手続き等について、学生支援センター職員より説明しました。



最後にこの2日間を個人で振り返り、各団体で発表を行いました。2日間の研修会に参加して何を学び、どう成長できたかを発表しました。また、閉会式にてクラブ・サークル委員会より、次年度の方針を具体的に公言することで、クラブ・サークル全体の目標を定めることが出来ました。

今回の研修会が、各団体の活動に活かされることを期待しています。



保育学科の取り組み

～「Hoiku Music Festa」と「ジュモ」～

短大 保育学科 福間 久美・日光 恵利

今回は保育学科の取り組み「Hoiku Music Festa」と「ジュモ」について紹介いたしましょう。

「Hoiku Music Festa<第18回定期演奏会>」は2月22日(土)に柏原市リビエールホールで開催されました。1年生は合唱とダンスパフォーマンス。2年生はピアノ独奏とリレー連弾、迫力満点の和太鼓アンサンブルなど、保育学科学生全員で学びの成果を発表しました。

参加してくれた附属幼稚園の年長組園児たちも、1年生合唱の「パプリカ」を一緒に口ずさみ、いつのまにか身体が動き出し、短大生が授業で制作したディズニーキャラクターの大型ペープサートや大道具に目を奪われ、指をさしながら、ステージを楽しんでくれました。プログラム第1部の最後は園児たちの合唱でした。いきいきと楽しみながら歌う園児たちの姿を保育学科の学生たちはどのように受け止めたのでしょうか。

全員が出演者であり、裏方であり、観客でもある…みんなでつくり上げるHoiku Music Festaはまだまだ進化する。お楽しみに!



保育学科の学生20名が所属するサークル「あそびのポケット」では、学内の保育実習室を活用して、多胎児子育て支援ボランティア「ジュモ」を実施しています。季節の行事に合わせて、こいのぼりや七夕飾りを製作したり、クリスマス会を開いたりして、地域のかわいい双子のお友だちと楽しく活動しています。実際に子どもたちと触れ合うことで、授業で学んだことを実践することができ、学生には大切な学びに繋がっています。





高校グラウンド人工芝 お披露目セレモニー

高校 岩本 道雄

2月20日(木)午後3時20分から、高校グラウンド人工芝お披露目セレモニーを実施し、1・2年生の生徒全員と教職員が参加しました。

吹奏楽部による素晴らしいファンファーレの演奏で始まり、生徒会長による開会の言葉のあと、校長先生からお話がありました。そして、体育委員長が人工芝グラウンドの使用上の注意をしたあと、閉会しました。

閉会后、全員で記念撮影を行いました。本校の建学の精神である「感恩」の大きな文字の後ろに並び、カメラに向かって「バンザイ」のポーズで写真を撮りました。生徒全員

が明るく笑顔で、大変微笑ましい光景でした。

この美しい人工芝のグラウンドで、生徒たちがより活発に体育の授業やクラブ活動に励んでくれることを期待します！



保育進学コース 卒業公演

高校 池部 宣江

12月13日(金)、保育進学コース5期生の「卒業公演」が記念講堂にて行われました。

今年度は、和太鼓・ダンス・ピアノ演奏・オペレッタ・合唱と盛りだくさんの内容でしたが、「全種目・全員参加」を目標に取り組んでまいりました。オペレッタでは、自分たちの個性を引き出せるように配役などを考えていきました。オペレッタで使用する小道具や、衣装製作では途中で諦めること無く試行錯誤を重ね、納得のいくものが出来上がるまで何度もチャレンジしていました。「誰もがリーダーで、全員が責任をもって行動すること」を約束し、意見がぶつかった際は、誰かがその場のリーダーとして現れ、まとめていきました。「ひとりでは出来ない。誰かの恩恵があり、不可能が可能になっていく。」そのことを実感し、仲間へ感謝してチームプレーの大切さを感じている様子が伺えました。どんなことにもチャレンジする精神と、どんなことでも楽しむことを忘れない明るい心で、失敗にもめげず、励まし合いながら最後まで頑張っていました。

本番では、緊張の中、笑顔を交し合い、一つ一つの演目を一生懸命に演じていました。この卒業公演を通して、得たものは何ものにも代え難く、これからの人生において大きな財産になっていくと思います。将来、保育者として、このチャレンジ精神と感謝の心を忘れず、大いに活躍してくれることを、心より願っています。



令和元年度 クラブ活動報告

(11月以降)



前号に続き、11月以降のクラブ活動のおもな結果を報告させていただきます。

なぎなた部

第32回 近畿高等学校なぎなた選手権大会 大阪府予選会(11月)

団体の部 準優勝
個人の部 優勝、第3位

令和元年度新人大会兼全国選抜大会大阪府予選 (1月 本校総合体育館)

選抜予選団体の部 準優勝
トーナメント団体の部 優勝
選抜予選個人の部 優勝、第3位

第15回 全国高等学校なぎなた選抜大会 近畿ブロック予選会(1月 大阪府)

選抜予選団体の部 優勝

第32回 近畿高等学校なぎなた選手権大会(2月 大阪府)

団体の部 優勝



日本拳法部

第24回 西日本高等学校日本拳法選手権大会

〔団体競技の部(予選リーグ及び準決勝)〕(11月 大阪府)
上記の結果で
大阪中央体育館で行われる決勝戦に男女とも進出決定。

第18回 大阪高等学校秋季日本拳法新人大会(11月)

団体競技 男子 優勝 女子 優勝



バドミントン部

第48回 全国高等学校選抜バドミントン大会
大阪府予選会(11月)

学校対抗の部 男子 第3位

第65回 近畿高等学校バドミントン選手権大会(11月 滋賀県)

ダブルスの部 女子1組、男子2組出場

第67回 大阪高等学校バドミントン選手権大会(1月)

ダブルスの部 女子 第5位、男子 第5位

卓球部

第74回 大阪高等学校総合体育大会(11月)

女子の部 学校対抗 ベスト8

第34回 近畿高等学校新人卓球大会(12月 兵庫県)

女子の部 学校対抗 ベスト32

バレーボール部

全日本高校選手権大会大阪地区決勝ラウンド出場(11月)

大阪高校新人大会 1次予選 1部 2位(11月)
2次予選 ベスト32(12月)

サッカー部

令和元年度中河内サッカーリーグ(11月)

準優勝

吹奏楽部

堺市吹奏楽連盟 第6回 堺市アンサンブルコンテスト(1月)

クラリネット6重奏 金賞

サクソフォン5重奏 銀賞

堺市吹奏楽連盟

第24回 南大阪管打楽器ソロコンテスト(1月)

トランペット 金賞(関西大会へ) マリンバ 金賞

ユーフォニアム 金賞 フルート 銀賞

大阪狭山市吹奏楽連盟

第29回 管弦打楽器ソロコンテスト(2月)

バリトンサクソ 金賞 フルート 銀賞

トロンボーン 銀賞

演劇部

第69回 大阪府高等学校演劇研究大会 H地区大会(11月)

男子 個人演技賞



ドキドキわくわくした 生活発表会

幼稚園 高見 沙織

2月15日(土)・16日(日)に子どもたちが楽しみにしていた生活発表会が行われました。

子どもたちは劇遊びを「こうしたらおもしろいかな?」とみんなで考えて表現したり、合奏や合唱を友だち同士で見せ合いをしたりしながら、「あと何回寝たら、発表会があるの?」と、お家の人に見てもらえるのを楽しみにしていました。

当日の子どもたちは、ドキドキしながらも、自分たちの出番が来るのをわくわくして待っていました。そして待ちに待った舞台上で、一生懸命に役を頑張っている姿を、保護者のみなさまに見ていただくことができました。

保護者のみなさまにも子どもたちの成長を感じていただくことができたのではないのでしょうか。

発表会を通して子どもたちは自分に自信を持ち、友だちと一緒に協力する楽しさを感じることができたと思います。最後まで温かく見守ってくださり、ありがとうございました。



はじめての発表会

幼稚園 石神 祐奈

2月1日(土)、乳児棟で初めての生活発表会を行いました。入園当初から、いろいろな歌や手遊びに触れてきた子どもたち。最初は保育者の動きや声を興味深そうに見たり聞いたりするだけでしたが、今ではピアノの音が聞こえると全身でリズムをとりながら歌ったり踊ったりして楽しむ姿が見られるようになりました。

発表会では、そんな子どもたちがいつも楽しんでいる歌や劇遊びをたくさんの方に見ていただきました。たくさんのお客さんを前に、ドキドキしている様子も見られましたが、お家の方を見つけて少しホッとした様子で劇遊びを楽しむ姿もありました。終わってから、「大きい声だったね!」と褒めてもらったり、「頑張ったね!」と抱っこしてもらったりする子どもたちの表情は、とても嬉しそうでした。これからも

友だちと仲良く、歌やごっこ遊びが大好きな子どもたちでいてほしいと思います。

ご来賓のみなさま、学園の先生方、温かい拍手をありがとうございました。





定期演奏会



幼稚園 藤本 歩

2月22日(土)に短期大学保育学科の定期演奏会があり、リビエールホールの舞台に年長組の子どもが合唱で参加しました。出番を待つ間、客席でお姉さんたちのピアノの演奏やパフォーマンスを見て「すごいね」「この歌知っている」と口ずさんでいました。自分たちの出番が近づくにつれて少し緊張した様子の子どもたち。舞台では「歌え!バン

バン」「虹」「さよならぼくたちのようちえん」を歌い、最後の曲「さよならぼくたちの～」では幼稚園でのいろいろなことを思い出している様子で、歌い終わるとホッとした表情が見られました。大きな舞台に立ってみんなで歌えたことが自信につながったと思います。これからも音楽を楽しむ豊かな感性を大切にしたいと思います。



ベジタブルクッキング



幼稚園 古上 愛菜

3学期が始まってすぐに大学福祉栄養学科のお姉さん・お兄さんと一緒に、野菜入りのホットケーキを作りました。

小麦粉に卵と牛乳を入れた生地に、自分たちでチーズやミックスベジタブルを入れました。生地が焼けるおいしそうな匂いが漂ってくると「早く食べたいな〜!」「おうちで今度作りたい!」と楽しそうに言っていました。ホットケーキが焼けるまでの待ち時間には、本物の野菜に触れて、匂いや手触りを実際に触って体験していました。

いよいよ焼きあがって試食タイム!「みんなで作ったから美味しい!」、「野菜ちょっと嫌いだけどこれは美味しい!」と友だちと一緒に作って食べる楽しさを感じていました。





Tama Caféの挑戦!?

法人本部 経営企画室 江端 万純



学園本館1階食堂の「Tama Café」は2019年4月にリニューアルオープンしました。

学生・生徒・教職員で構成されたワーキングチームが、「食のクオリティ」「食環境」の向上に取り組んでいます。

人を育てるパワーは「食」にあり、栄養豊富な食事をおいしく食べ、健やかな身体・心・精神を育ててくれることが、私たち学園教職員の願いです。

その第一歩として、2020年2月より、Tama Caféで使用する油が全て綿実油に変わりました！素材の旨みを引き出す上質な綿実油は健康効果も高く、スタミナをつけ脂肪を燃焼させるオクタコサノールや、抗酸化作用等美容効果、癌予防や血液をさらさらにする効果があるとされるビタミ

ンを多く含みます。

今後も引き続き、「食」の「Quality Up」に取り組みます。お腹が空いた時、時間がある時、「おいしくなった！」と好評のTama Caféに是非来てください！

好きなものを
おいしく食べながら
自然と栄養摂取
してほしい！！



満腹チャーハン



TAMAランチ (日替わり)



大人気のからポテも
バージョンアップ!



綿実油試食テスト中の高校生



創業120年
岡村製油
(柏原企業)の
丹精込めた
「綿実油」を
使用

新学園グッズ 「TAMA DREAM BAG」販売開始!

法人本部 経営企画室 江端 万純

現在学園グッズとして「便利」「愛着」「良質」「おしゃれ」「自慢」「PR」をコンセプトに、雑貨(タオル3種)、文具(ボールペン4種、USB)、食品(TAMAあられ、TAMA BREAK)を販売しています。

4月1日より、新たに学園キャンパスバッグ「TAMA DREAM BAG」の販売を開始しました！販売価格は税込み500円で、丈夫で長く使える生地を使用しています。

エコの為にサステナブルな「TAMA DREAM BAG」を是非愛用してもらえると嬉しいです！

学生・生徒さんからのアンケート結果を基に、デザインを決定

～デザインの意味～(学園の理念を反映したメッセージ)

“GOT DREAMS&WILLS? (夢と志は持っていますか?)”

“FIND WHAT YOU LOVE. (夢中になることを見つける)”

“BE GRATEFUL. (感恩)”

“LET'S DO IT! (やってみよう!)”

GOT
DREAMS
&
WILLS?
FIND WHAT YOU LOVE.
BE GRATEFUL. LET'S DO IT!
SINCE 1942



6

タオル3種は発売間近!
TAMA GOODSを愛用して 夢と志へ近づこう★
TAMA BREAK
(ブランシェタカギさんのコラボクッキー)、
TAMAあられ は、おいしいと好評です!

身近な持ち物に学園の理念である「夢と志 (Dreams&Wills)」を記すことで、学園のみなさんがより親しみを感じ、それを実践し飛躍してほしいと考えています。

グッズ販売場所: 学園本館1階Tama Café 大学本館1階 丸善キャンパスショップ 学園総合体育館「Do夢」

玉手山学園のみなさんへ

新型コロナウイルス(COVID-19)鎮静へ 学園基本姿勢

学園構成員(学生 生徒 園児 教職員)の命・健康生活

学園「教育活動」機能を守る(学園崩壊を防ぐ)

⇒社会のコロナ封じ込め(鎮静)

玉手山学園も コロナ封じ込め(鎮静)に参画

次の3点の20%まで(普段の80%以上ダウン↓)をめざす

学内“3密(密閉 密集 密接)”

人との接触

外出(自宅から出る)

↑ 同時はゼロへ

その上で

教育遂行

←学園の使命

コロナ対策・制限のなかでも

できるかぎりの方法で教育サービスを提供する

学園構成員(学生 生徒 園児 教職員)全員(一人一人)による
理解・協力・実践が絶対に必要です All玉手山で克服しましょう
自分そして周りの人の 命を守りましょう 誠実な履行に感謝 敬意を表します

思 感

建学の精神「感恩」

2020年 4月8日

学校法人 玉手山学園

理事長・学園長 江端 源治

学園広報編集委員会

委員長 湯川 雅紀 (大学教育学部)

古橋 正則 (高等学校)

與原 真弓 (法人本部)

委員 横山 学 (大学事務局)

稲垣 晃子 (幼稚園)

松井 愛 (法人本部)

辻村 匡志 (大学事務局)

植田 陽 (法人本部)